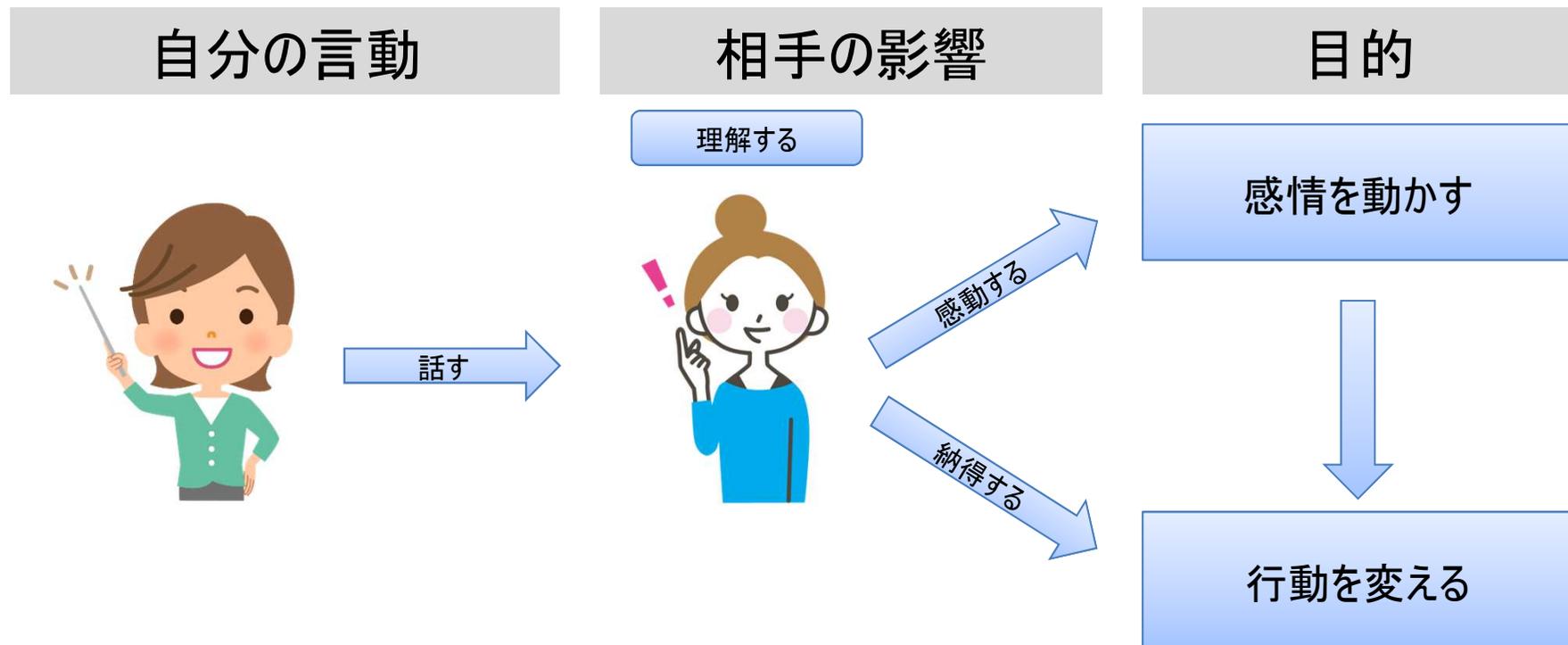


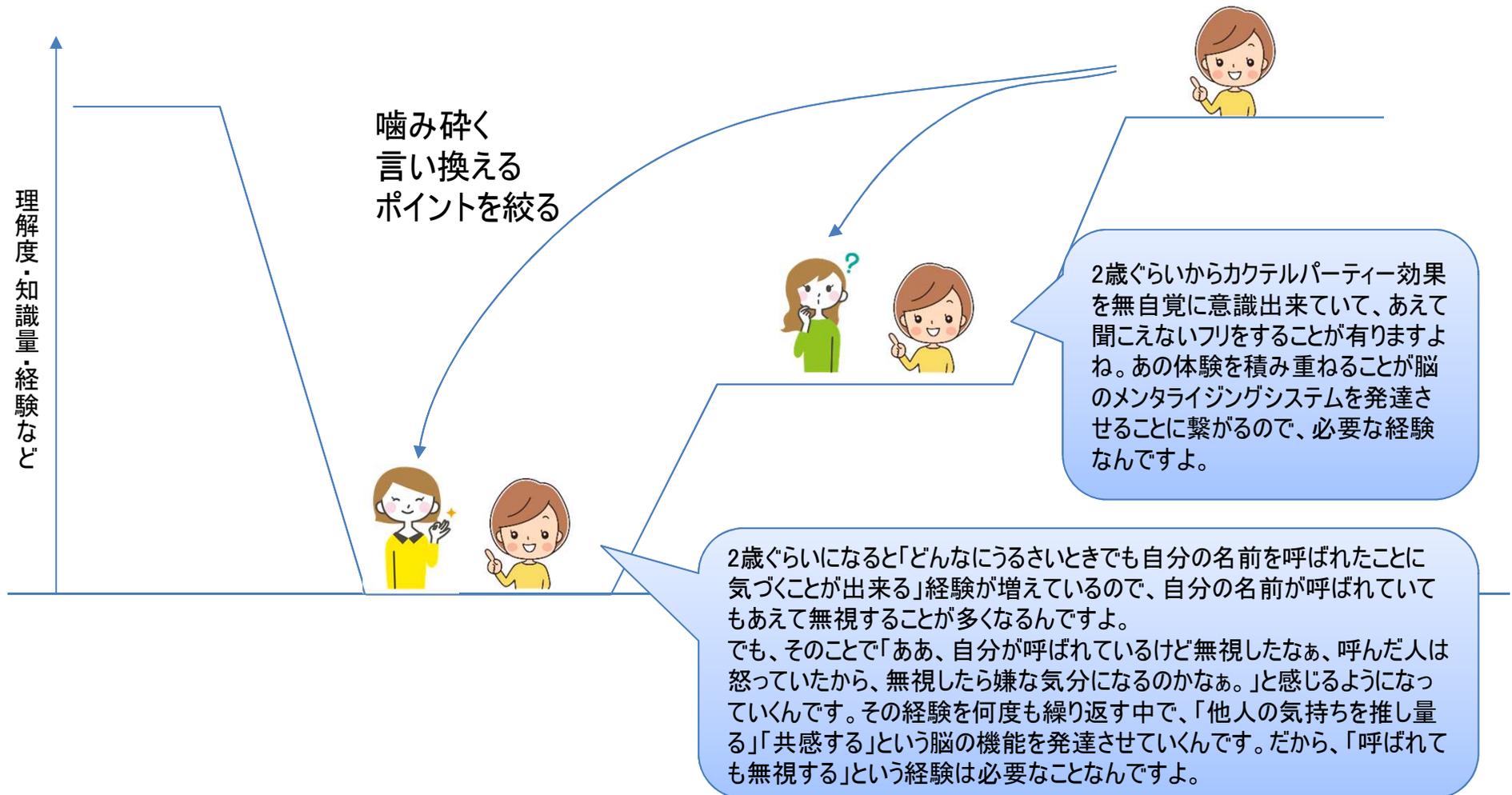
話す技術(1/4)

- 誰かに何かを説明するときには、「感情を動かす」ことか、「行動を変える」ことを目的としたほうが良い
- 自分が話した内容の3割も理解してもらえないことはよくあるので、「絶対に理解して欲しい」「感情を動かして欲しい」「行動を変えて欲しい」ポイントは絞り込んでおく必要がある



話す技術(2/4)

- 相手が何を理解しているのかを知らないとどれだけたくさんの情報を詰め込んでも、どれだけ熱意を持って説明しても伝わらない
- 相手の理解度、知識量、常識に合わせて話す内容を決めなければならない



話す技術(3/4)

- 開かれた質問(オープンクエスチョン)と閉ざされた質問(クローズドクエスチョン)をうまく使い分けて、相手の理解度等を知り、相手に合わせた話し方を決めていく

	開かれた(OPEN)質問	閉ざされた(CLOSED)質問
定義	YESやNOで簡単に答えられない質問 回答者が自分で考えて答えを作る質問	YESかNOかで答えられる質問 答えがどちらかに決まっている質問
具体例	「どのような問題でお悩みですか」 「ご自分の課題は何だと思われますか」 「2歳児が聞こえていないふりをすることのメリットってなんだと思いますか？」	「今日は暑いですね～」 「ご自宅は〇〇市内ですか？」 「メンタライジングシステムって聞いたことありますか？」
目的	本題について深い話をしてもらう 回答者の考えをまとめさせる	コミュニケーションの入り口として使う 理解度の基準を作る （“ここまでは理解している“を知る）

話す技術(4/4)

- 説明する最終目的は「行動を変える」ことなので、目的に合わない話題を話したときには、当初の目的に戻すように話題を引き戻す必要がある(Forcus)
- 一つのテーマで深く入り込みすぎたときには全体像を示す必要がある(Diverge)

	Forcus表現	Diverge表現
困る事例	<p>野菜入りさつま焼きは子ども達にあまり人気がない。もしかしたら切り方を変えたら食べるのかもしれないね。 ○○も切り方を変えたら面白いように食べるようになったしね。 昔のことを言ったら良くないかもしれないけど、△△がメニューに出てきていたときには一口サイズの丸型だったからよく食べたよね。そういえば最近△△はあまり出ないね。確かに給食のメンバーは今忙しいから、仕方がないかもしれないけど、出来ることなら離乳食の試食会も・・・</p>	<p>(夏祭りの企画を何にするかを決める話し合い) Aさん: 去年はお菓子のすくい取りで小学生がズルをしてたくさん取っていったという反省があったよね。 Bさん: それってお盆を使ったやつですよ。あれは見ているときにやっていた子がいたので辞めさせたんですよ。 Aさん: じゃあ、今年は小学生はおたまではなくて火ばさみにします？ Cさん: 火ばさみだとさすがにつかめないから、せめてトングとかにしたらどうでしょう？ Aさん: じゃあトングを給食室から借りてこないかね、3人ぐらい同時に出来るようにしたいから3本と予備1本と・・・</p>
表現の例	<ul style="list-style-type: none"> • ~はとても大切だと思うのですが、先に××を片付けてからにしたらまずいですか？ • ~は考え出すと結構時間がかかりそうな気がするのですが、今はすぐに決めないといけない××を先に試してみてもいいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> • 「あの一、あの一、あの一」(強制的に注目を集める) • 今なんの話をしてたんですか？ • とっても楽しそうなんですが、ちょっとだけ他のことも確認していいですか？
コツ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 相手がOKしか言えない状況を作る ✓ 目的に合わない話も「大切」だが今は後回しにせざるを得ないと思わせる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ テンションを下げるために「嫌な人」を演じる